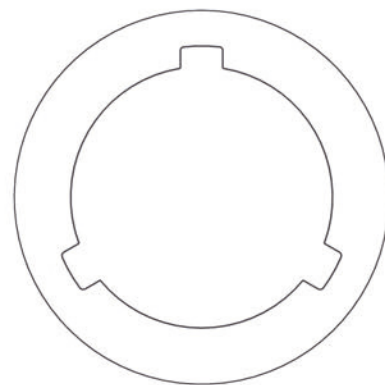


a perfect fit™



カムロゲインプラントシステム バリオSRアバットメント



camlog



目次

カムログインプラントシステムの情報	4
システムイントロダクション	5
インプラント補綴に関する一般的情報	5
カムログチューブインチューブ (TUBE-IN-TUBE™) によるインプラント - アバットメント連結	6
カムログカラーコード	7
補綴修復のプランニング	8
製品の解説	9
バリオ SR アバットメント	10
バリオ SR 用の補綴コンポーネンツ	12
使用方法	13
バリオ SR アバットメントの選択および使用法	13
バリオ SR アバットメント セレクションアナログ	15
印象採得のオプション	16
ブリッジおよびバー修復を行う際の印象採得	16
単冠修復を行う際の印象採得	19
バリオSRアバットメントの咬合採得	20
模型の作製	22
バリオ SR アナログを用いたブリッジおよびバー補綴用の模型作製	22
インプラントアナログを用いた単冠補綴修復時の模型作製	25
暫間補綴	26
プロテクションキャップ	26
テンポラリーブリッジ補綴修復 チタンキャップ ブリッジ用	27
補綴物の作製	28
バリオ SR アバットメント ストレートの補綴スクリュー連結	28
バリオ SR アバットメント アングルの補綴スクリュー連結	28
バリオ SR アバットメント上で直接上部構造を作製するオプション	29
バリオ SR プラスチックコーピングを用いた鑄造修復	30
アクリルレジン製ブリッジ構造体 チタンキャップ ブリッジ用	34
ハイブリッドデンチャー レーザー溶接式バーアタッチメント バーコーピング	36

カムログインプラントシステムの情報

カムログインプラントシステム

カムログインプラントシステムは、臨床やラボでの長年の経験に基づいた、ユーザフレンドリーで補綴主導型のインプラントシステムです。

全てのカムログ製品は、最新の技術的水準に合わせて絶えず改良されています。カムログインプラントシステムは、カムログ研究開発チームと多くの大学、歯科医院および歯科技工士との協力により開発・製品化が継続的に進められ、最新の技術開発にも対応しています。

カムログインプラントシステムは、多くのデータによって科学的に実証されたシステムです。広範なパラメータ、例えばインプラント表面性状、インプラント埋入のタイミング、インプラント負荷時期、初期固定、連結デザインおよび上部構造のタイプ等が、数多くの研究によって裏付けられています。長期の予後においても優れた結果が得られています。

留意点

ここに述べるカムログインプラントシステムに関する説明は、すぐに使用することを想定したものではありません。ご使用を開始される際は、カムログインプラントシステムの扱いに熟練したエキスパートの指導を仰ぐことを強く推奨いたします。カムログインプラントおよびアバットメントの使用は、本システムの訓練を受けた歯科医師、口腔外科医、歯科技工士に限られます。カムログでは適切な講習会や研究会を定期的で開催しています。治療法の誤りは、インプラントの脱落やインプラント周囲骨の重大な損失を招く恐れがあります。一般的なインプラントに関する手技については、公益社団法人日本口腔インプラント学会の「口腔インプラント治療指針」に準拠してください。



システムイントロダクション

インプラント補綴に関する一般的情報

近年インプラント補綴は歯科医療に不可欠なものとして確立されてきました。患者サイドの期待と要望は確実に大きくなっています。従って、現在のインプラント治療のコンセプトはその究極の目標として、審美・機能・発音を含んだ心理社会的なリハビリテーションでなければなりません。このことは、外傷で切歯を1本喪失したケースから、残存歯に歯周疾患の合併症があるような複雑な治療、あるいは重度に吸収した上下顎の無歯顎治療に至るまで同様に当てはまるものです。

質の向上と専門性への要求が高まることは、チームメンバーの知識と経験を集約する総合的なアプローチが必要であることを意味しています。近年のインプラント修復には、細部への高度な配慮と臨床経験が求められています。このことは、補綴医、外科医、歯科技工士、および看護師、歯科衛生士、チェアサイドアシスタントなどのコ・デンタルスタッフすべてに当てはまります。カムログのチームコンセプトでは、これら全ての要求が考慮されています。チームメンバー全員による治療計画が立てられると、次に治療の順序を作成し、個々の手順がチームメンバーにそれぞれ割り当てられます。

インプラントの補綴修復は、その計画と作製に関して可能な限りシンプルかつ安全に設計する必要があります。必要なインプラントの本数、インプラントの長さや直径は、後に計画される修復物と骨のインプラント埋入部位に基づいて決定されます。インプラントの埋入前計画は補綴の要求事項が土台となります（バックワードプランニング）。

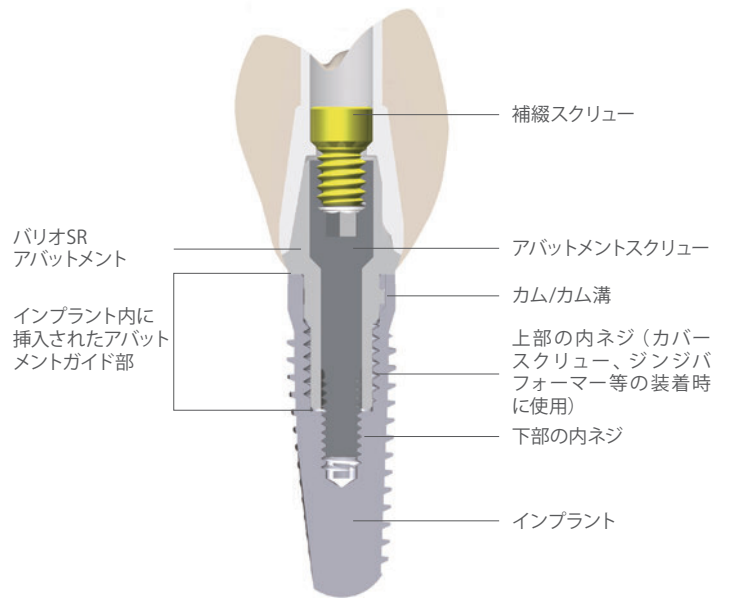
インプラント補綴修復の中心は患者です。患者のニーズや希望を汲んだうえで作製することが肝心です。また、解剖学的関係や状態を考慮することも大切です。天然歯は、歯根膜によって弾性的に歯槽骨に接合していますが、インプラントは骨質にアンキロティックに連結することによって歯槽骨内にリジッドに固定されます。そのためインプラント支持のクラウン・ブリッジ修復物に加わる咀嚼力は、骨に直接伝達されます。インプラントの長期的成功を得るためには、適切な咬合設計による可能な限り生理学的なプロセスを通して咀嚼力が伝達される必要があります。

このことは、臼歯部咬合面上に約1mm²の面積を設けることで、習慣的な咬頭嵌合位において側方に約1mmの自由域を付与することが可能になります。これによって、咬頭は後方接触位（中心咬合位）と最大咬頭嵌合位との間をスムーズに移動できるようになります。これはフリーダムインセントリックと呼ばれています。また、大臼歯を小臼歯形態にすることとの組み合わせで過剰な負荷を防ぐことができます。歯列のかみ合わせが過度に強くないよう咬頭を過剰に高くすることは避け、垂直的な咀嚼力がインプラントとその対合歯軸に対して可能な限り生理学的に作用するようにします。個々のインプラント部のクラウンにガイドを求めることで、その部位に過剰に強い側方応力が加わることも避けなければなりません。ワックスアップなどであらかじめ適切な設計を立てることが必要です。

カムログチューブインチューブ (TUBE-IN-TUBE™) によるインプラント-アバットメント連結

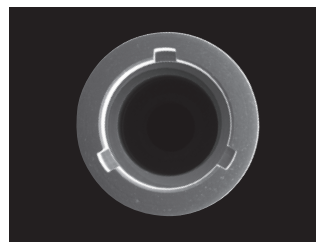
カムログインプラントには科学的に証明されたチューブインチューブ™によるインプラント-アバットメント連結と、3つのシンメトリーに配置されたカム溝が付与されています (幅0.5または0.7mm、深さ1.2mm)。

全てのバリオSRアバットメントには、インプラントとの接合面の下方に、カムログインプラント及びインプラントアナログのカム溝に適合する3つのカムがあります。バリオSRアバットメントを挿入する時には、アバットメントのチューブがガイドとなり縦軸方向へシンプル、安全かつ容易に挿入と位置取りができ、3つのカムがインプラントのショルダー部に適確にあたります。次いでカムがカム溝にかみ込む感触が得られるまでアバットメントを回転させ陥合させると、その状態がアバットメントの最終装着位置です。



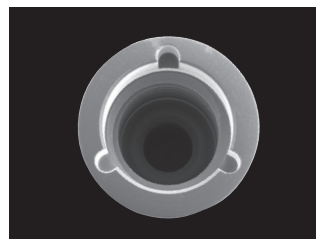
スクリュータイプインプラント

円筒状のインプラントネック部分に四角いカム溝が付与されています。(K-シリーズの内部機構)



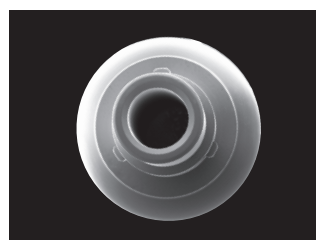
ルートフォームインプラント

円筒状のインプラントネック部分にラウンドのカム溝が付与されています。







バリオSRアバットメント

全てのカムログインプラントに適合する3つの四角いカムが付与されています。



カムログカラーコード

カムログの外科および補綴用パーツのカラーコード

	色	直径
	グレー	3.3 mm
	イエロー	3.8 mm
	レッド	4.3 mm
	ブルー	5.0 mm
	グリーン	6.0 mm

重要事項

カラーコード（直径）の異なるパーツ同士を組み合わせて使用しないでください。パーツの形状を修正しないでください。

補綴修復のプランニング

はじめに

近年のインプラント補綴は「バックワードプランニング」と呼ばれ、治療の最終的な目標（ゴール）を基準にして計画されます。これは特に補綴的に最適な位置に対して、インプラント治療のために必要な骨量を骨造成などによって確保する際に有効です。

技工サイドで作成されたワックスアップ/セットアップをもとに、機能、発音、および衛生の観点において補綴主導型でインプラントの埋入位置とサイズを決定する必要があります。補綴のデザインならびにインプラント埋入位置と軸方向は、歯科医師と歯科技工士の綿密な連携によって決定されます。この過程において両者が治療オプションを十分に理解しておくことが必要です。

インプラントを通法どおりの位置（欠損歯とほぼ同じ位置）に埋入する事が、なんらかの理由—機能性（インプラント負荷、クラウンの長さ）、審美性（軟組織の支持）あるいは衛生関連の問題—で困難な場合には、可撤性義歯を検討する必要があります。

補綴修復計画に関する詳しい情報は、マニュアル「カムログインプラントシステム—クラウン・ブリッジ修復」をご覧ください。

製品の解説

はじめに

バリオ SR用の補綴パーツは、上下顎においてカムロゲインプラント上にスクリー固定するクラウン、ブリッジ、バー修復物を作製する為にご利用いただけます。

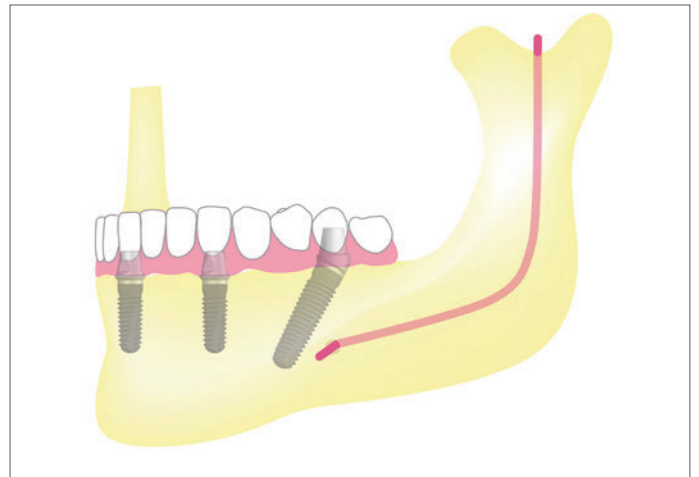
バリオSRアバットメントとバリオSR用の補綴パーツは、ひとつひとつが精密に適合するように高精度に作製されており、臨床および技工手順を標準化しています。これは臨床および技工の過程において作業の軽減と大幅な時間短縮につながります。

バリオSRの補綴パーツは、カラーコード化されたバリオSRアバットメント（ストレート、20° アングル、30° アングル）、バリオSRインプレッションキャップ（オープントレー、クローズドトレイ）、バリオSRアナログから構成されています。

また、バリオSRには鋳造用のバリオSRプラスチックコーピング、暫間および最終補綴用のチタンキャップブリッジ用、レーザー溶接バー修復のためのバーコーピング、黄色に陽極酸化された補綴スクリーなども用意されています。

解剖学的形態によって処置が難しい部位

インプラントの軸が大きく異なる部位においてブリッジ修復で平行性を取る場合には、20° および30° の角度を付けたバリオSRアバットメントのアングルタイプで対応できます。骨量が少なく、インプラント埋入が難しい解剖学的形態の部位でも、インプラントを遠心方向に傾斜埋入し、適切な補綴修復を行うことができます。



バリオSRアバットメント

バリオSRアバットメントはインプラントの直径に応じてカラーコード化されています。バリオSRアバットメントのストレートタイプにはバリオSRアバットメントスクリューが、アングルタイプにはアバットメントスクリューがそれぞれ付属しています。

※ストレートタイプ用のバリオSRアバットメントスクリュー
(単品での取扱いはありません)

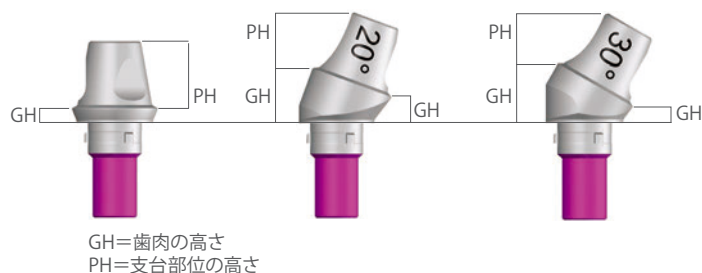
3.8/4.3mm用: M 1.6

5.0/6.0mm用: M 2.0

アングルタイプ用のアバットメントスクリュー

3.8/4.3mm用: M 1.6 (商品コードJ4005.1601)

5.0/6.0mm用: M 2.0 (商品コードJ4005.2001)



バリオSRアバットメント ストレート (バリオSRアバットメントスクリュー付き)

商品コード K2560.3808 K2560.4308 K2560.5008 K2560.6008

Ø mm	3.8	4.3	5.0	6.0
GH mm	0.8	0.8	0.8	0.8
PH mm	3.8	3.8	3.8	3.8

※ストレートタイプのGHは全ての直径に共通で0.8mmです。

バリオSRアバットメント アングル (アバットメントスクリュー付き)

商品コード K2561.3800 K2561.4300 K2561.5000 K2561.6000 K2562.3800 K2562.4300 K2562.5000 K2562.6000

Ø mm	3.8	4.3	5.0	6.0	3.8	4.3	5.0	6.0
角度	20°	20°	20°	20°	30°	30°	30°	30°
GH mm	3.1-1.8	3.2-1.7	3.9-2.2	4.0-2.0	3.1-1.2	3.2-1.0	4.0-1.5	4.3-1.3
PH mm	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

※アングルタイプのGHは角度や直径によって異なりますので、上の表をご参照ください。






Ø: インプラント直径

GH: 歯肉の高さ

PH: 支台部位の高さ (インプラントショルダー部からアバットメント先端部まで)

全てのバリオSRアバットメントと付属のアバットメントスクリューは滅菌済みです。

バリオSRアバットメントの概要

アバットメント (ストレート 20° アングル 30° アングル)	バリオSRアバットメント ストレート Ø3.8/4.3 mm	バリオSRアバットメント アングル Ø3.8/4.3 mm	バリオSRアバットメント ストレート Ø5.0/6.0 mm	バリオSRアバットメント アングル Ø5.0/6.0 mm
				
アバットメントスクリュー	バリオSRアバットメント スクリュー M1.6	アバットメントスクリュー M1.6 商品コードJ4005.1601	バリオSRアバットメント スクリュー M2.0	アバットメントスクリュー M2.0 商品コードJ4005.2001
				

重要事項

必ず適合するアバットメントスクリューをご使用ください。

バリオSR用の補綴コンポーネンツ

スクリー固定式補綴修復物の作製においては、バリオSRアバットメントおよびバリオSRアナログに補綴スクリー（M 2.0）で固定できる多様なバリオSR用の補綴コンポーネンツが揃っています。

バリオSR用の補綴コンポーネンツのシステム概要

印象採得

バリオSRインプレッションキャップ

バーおよびブリッジ修復の印象採得用キャップ（オープントレイ、クローズドトレイ）アバットメントレベル印象用 回転防止機構なし



Ø3.8/4.3 mm Ø5.0/6.0 mm
オープントレイ

Ø3.8/4.3 mm Ø5.0/6.0 mm
クローズドトレイ

模型作製

バリオSRアナログ

バーおよびブリッジ修復の模型作製用



Ø3.8/4.3 mm

Ø5.0/6.0 mm

テンポラリーレストレーション（暫間修復物）

プロテクションキャップ

バリオSRアバットメントのイニシャルテンポラリーレストレーション用



Ø3.8/4.3 mm

Ø5.0/6.0 mm

上部構造の作製

補綴スクリー

ヘックス M 2.0 黄色



バリオSRの全コーピング、全直径共通

バリオSRプラスチックコーピング

焼却用コーピング、単冠用（回転防止機構付き）/ブリッジおよび鑄造バー修復用（回転防止機構なし）



Ø3.8/4.3 mm
ストレートクラウン用 /
アングルクラウン用 / ブリッジ用

Ø5.0/6.0 mm
ストレートクラウン用 /
アングルクラウン用 / ブリッジ用

チタンキャップ ブリッジ用

暫間修復および/または最終ブリッジ修復用 回転防止機構なし



Ø3.8/4.3 mm

Ø5.0/6.0 mm

バーコーピング

チタン製、レーザー溶接チタン製バー修復物の作製用、回転防止機構なし



Ø3.8/4.3 mm

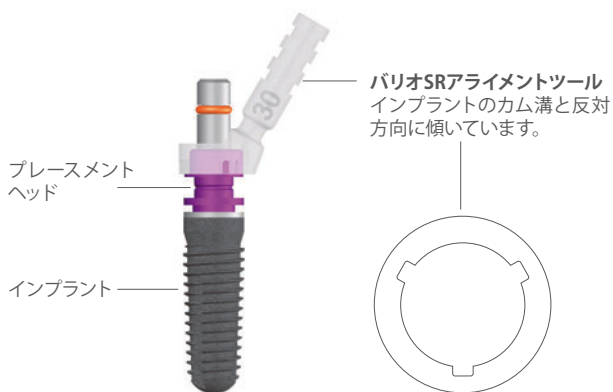
Ø5.0/6.0 mm

使用方法

バリオSRアバットメントの選択および使用法

ブリッジおよびバー構造については患者口腔内の状況に合わせて、適切なバリオSRアバットメントの選択が可能です。

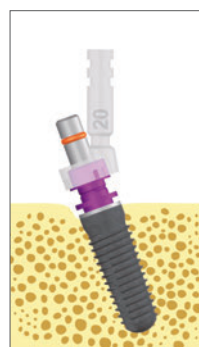
バリオSRアバットメントはアバットメントスクリューと共に滅菌包装されています。通常非滅菌のアバットメントに対しては装着前に滅菌することが推奨されていますが、バリオSRアバットメントは包装から出してすぐにインプラントに装着する場合やアバットメントがすでにインプラントに固定されている場合には、滅菌は不要です。



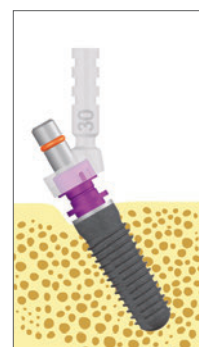
バリオSRアライメントツールの角度は、バリオSRアバットメントの20°角度および30°角度と一致しています。

バリオSRアライメントツール 20° / 30° を用いた、角度付きバリオSRアバットメントの選択

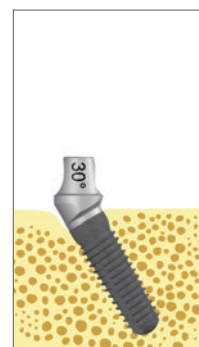
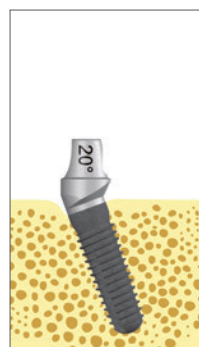
複数のインプラントを埋入する場合、埋入後バリオSRアバットメントを装着する前にバリオSRアライメントツール(20°、30°)を用いることで、個々の埋入方向やインプラントのカム溝の位置、アバットメントの平行性を確認できます。アライメントツールをインプラントのプレースメントヘッドに装着します。必要であればインプラントのカム溝の位置を微調整することができます。



バリオSRアライメントツール20°



バリオSRアライメントツール30°



グループ2つ=20°

バリオSRアライメントツール 20°とバリオSRアバットメント 20°アングル



グループ3つ=30°

バリオSRアライメントツール 30°とバリオSRアバットメント 30°アングル

重要事項

口腔内で使用の際は、患者に誤飲させないように十分注意してください。

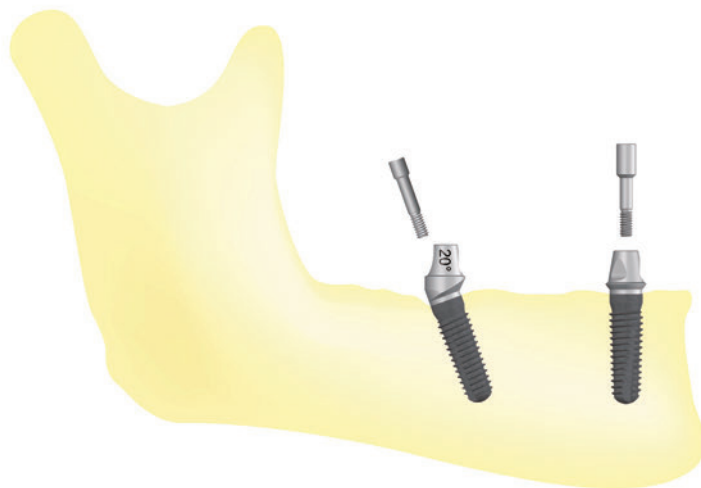
アバットメントの装着

アバットメント装着の前にインプラントの内部を洗浄します。選択したバリオSRアバットメントをインプラントに装着し、インプラントのカム溝にアバットメントのカムがかみ合った感覚が得られるまで回転させます。この位置がアバットメントの最終位置になります。

注意

アバットメントスクリーウのタイプが合っていることを確認ください!

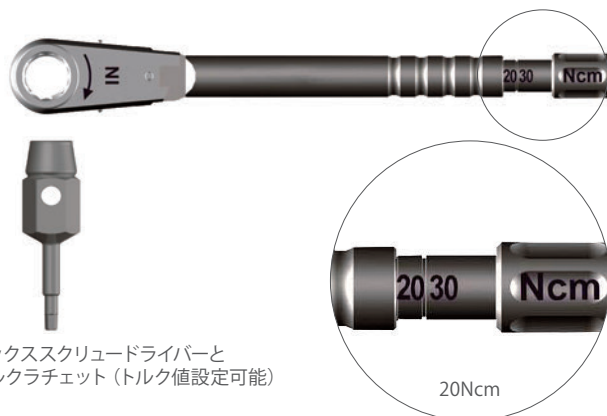
- ・バリオSRアバットメント ストレート=バリオSRアバットメントスクリーウ (バリオSRアバットメントに同梱されています。単品での取扱いはありません)
- ・バリオSRアバットメント 20° アンクル及び30° アンクル=アバットメントスクリーウ (商品コードJ4005.1601、J4005.2001)



ヘックススクリーウドライバーとトルクラチェットを用いて、20Ncmのトルクでアバットメントスクリーウを締め付けます。確実なスクリーウ固定を行うために必ず約5分後に同じトルクで増締めを行ってください。

重要事項

補綴パーツとの精度に支障がでるため、バリオSRアバットメントは形態修正しないでください。



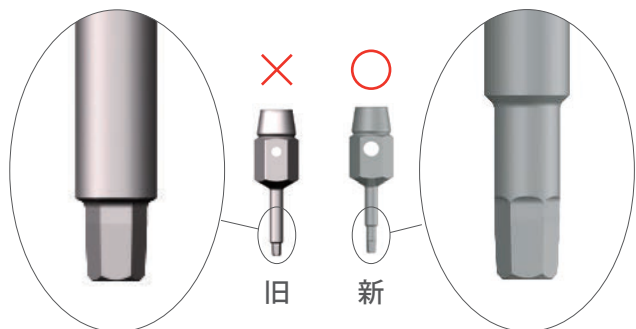
ヘックススクリーウドライバーとトルクラチェット (トルク値設定可能)

20Ncm

アバットメントがインプラントに正しく装着されていることを確かめるために、X線で確認することを推奨します。

重要事項

バリオSRアバットメント ストレートに同梱されているバリオSRアバットメントスクリーウ及びバリオSRラボスクリーウ (単品販売商品コードJ4008.1601、2001) には、2010年以前にご購入いただきました旧タイプのヘックススクリーウドライバーはご利用いただけません。



旧

新



ヘックススクリーウドライバー (エクストラショート、ショート、ロング)

バリオSRアバットメント セレクションアナログ

バリオSRアバットメント セレクションアナログ

カムログインプラントをインプラントレベルで印象採得し、インプラントアナログを使用して作業模型を作製する場合には、バリオSRアバットメント セレクションアナログを用いて適切なバリオSRアバットメントを選ぶことができます。

模型を作製後、技工サイドで上部構造に適したバリオSRアバットメントを、カラーコード化されたセレクションアナログから選択します。

セレクションアナログは、実物のバリオSRアバットメントと形状が統一されています。セレクションアナログはプラスチック製 (POM) で、カムは1つ、全体がカラーコード化されています。

























模型に合ったアバットメントを選択してください。その際、インプラントの軸、カム溝の位置、歯肉形態と厚み、インプラントの直径を考慮してください。セレクションアナログはインプラントアナログに直接装着して確認することが可能で、繰り返し使用できます。

注記

直径6.0 mmのバリオSRアバットメントの場合は、直径5.0 mmの青色のセレクションアナログを使用してください。

警告

バリオSRアバットメント セレクションアナログは選択のためのダミーです。患者には使用しないでください。

セレクションアナログ	バリオSRアバットメント	直径(mm)
バリオSRアバットメント セレクションアナログ Ø3.8mm用	 K2560.3808	 Ø: 3.8 GH: 0.8 PH: 3.8
	 K2561.3800	 Ø: 3.8 GH: 3.1-1.8 PH: 3.8
	 K2562.3800	 Ø: 3.8 GH: 3.1-1.2 PH: 3.8
バリオSRアバットメント セレクションアナログ Ø4.3mm用	 K2560.4308	 Ø: 4.3 GH: 0.8 PH: 3.8
	 K2561.4300	 Ø: 4.3 GH: 3.2-1.7 PH: 3.8
	 K2562.4300	 Ø: 4.3 GH: 3.2-1.0 PH: 3.8
バリオSRアバットメント セレクションアナログ Ø5.0mm用	 K2560.5008	 Ø: 5.0 GH: 0.8 PH: 3.8
	 K2560.6008	 Ø: 6.0 GH: 0.8 PH: 3.8
	 K2561.5000	 Ø: 5.0 GH: 3.9-2.2 PH: 3.8
	 K2561.6000	 Ø: 6.0 GH: 4.0-2.0 PH: 3.8
	 K2562.5000	 Ø: 5.0 GH: 4.0-1.5 PH: 3.8
	 K2562.6000	 Ø: 6.0 GH: 4.3-1.3 PH: 3.8

GH: 歯肉の高さ
PH: 支台部分の高さ

印象採得のオプション




ブリッジおよびバー修復の場合、口腔内に装着されたバリオSRアバットメント上に、バリオSRインプレッションキャップ（オープントレイまたはクローズドトレイ）を装着して印象採得を行います（アバットメントレベルでの印象）。単冠修復の場合は、インプレッションポスト（オープントレイ用またはクローズドトレイ用）を口腔内のインプラントに直接装着して印象を採得します（インプラントレベルでの印象）。

印象採得法—オープン/クローズドトレイ法

印象採得用としてオープントレイ法及びクローズドトレイ法のパーツが揃っています。オープントレイ法は、インプラントの軸が大きくずれている場合や、機能印象を伴う印象採得が望ましい場合を選択します。パーツを加工して使用しないでください。インプラント、アバットメント、印象採得用のパーツは、直径が同じものを使用してください。

ブリッジおよびバー修復を行う際の印象採得

カムログインプラントにバリオSRアバットメントを最終装着後、バリオSRインプレッションキャップ（オープントレイまたはクローズドトレイ）をアバットメントに直接装着して印象を採得します（アバットメントレベルでの印象）。

商品コード			直径
J2566.4300		バリオSRインプレッションキャップ オープントレイ（固定スクリュー付）	3.8/4.3mm
J2566.6000		バリオSRインプレッションキャップ オープントレイ（固定スクリュー付）	5.0/6.0mm
J2565.4300		バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレイ	3.8/4.3mm
J2565.6000		バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレイ	5.0/6.0mm

印象材

オープントレイ法およびクローズドトレイ法の印象材には、シリコンまたは ポリエーテル系の印象材が適しています。

注記

印象用パーツを装着する際は、トルクラチェットを使わず手で締めてください。

注記

バリオSRインプレッションキャップ（オープントレイ、クローズドトレイ）には回転防止機構が付いていないため、ブリッジおよびバー修復用としてアバットメントレベルで印象採得をする際に使用します。単冠修復を行う場合にはインプラントレベルで印象採得をしてください。

バリオSRインプレッションキャップ オープントレーを使った印象採得

バリオSRインプレッションキャップ オープントレーには固定スクリューが付いており、バリオSRアバットメントに直接装着することができます。固定スクリューを締めるとネジが、アングルタイプであればアバットメント先端の内ネジに、ストレートタイプであればアバットメントスクリューのヘッド部の内ネジに収まります。インプレッションキャップ オープントレーの固定スクリューには上部にブレイクポイント（破折線）が付いています。咬合高径が限られている場合には、ヘックススクリールドライバーを用いて、スクリューヘッドの上から3mmのところを折って短くして使用することができます。

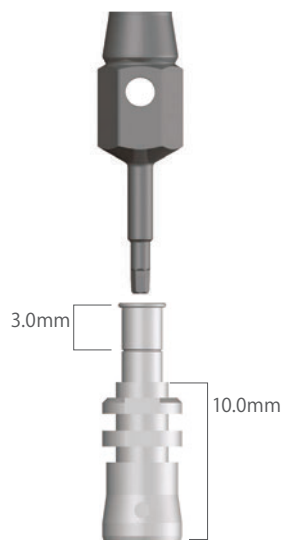
注意

固定スクリューの切断作業は必ず口腔外で行ってください。

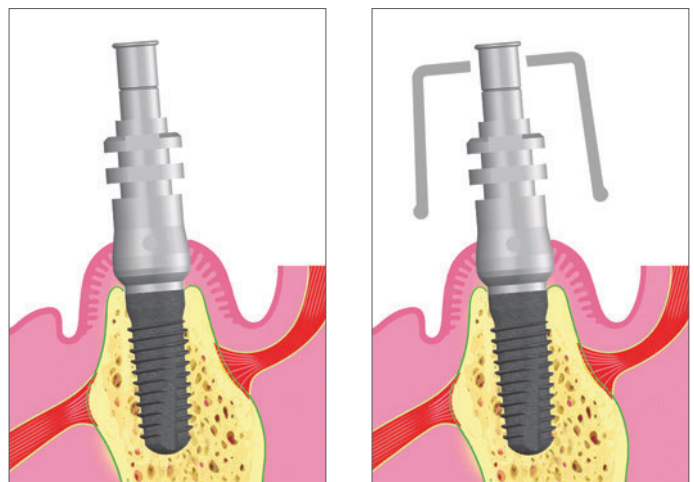
バリオSRインプレッションキャップ オープントレーをバリオSRアバットメントに装着します。固定スクリューは必ずヘックススクリールドライバーを使用して手で締め込んでください。歯肉が厚くタイトな場合は、印象採得する前にX線でインプレッションキャップが正しく装着されたかどうか確認することをお勧めします。

印象採得は固定スクリュー用の穴を開けた個人トレーを用いて行います。

印象採得する前に、トレーが正確に適合しているかどうかを確認します。穴から出ている固定スクリューがトレーに接触していないことを確認した後、シリコンまたはポリエーテル系の印象材を使用して印象を採得します。

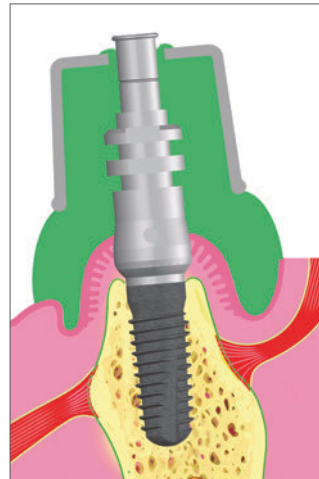


バリオSRインプレッションキャップ
オープントレー



印象を取り外す際は、固定スクリューを緩めた後に停止位置まで上方に引き上げてから、印象を外します。インプレッションキャップは印象に取り込まれた状態となります。

ヒント：模型作製の効率化のために、印象と一緒に対応するバリオSRアナログを技工所に送付することをお勧めします。



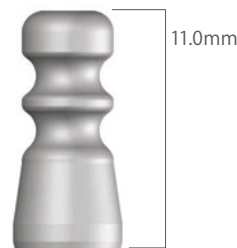
バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーを使った印象採得

バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーは一体型でバリオSRアバットメントに直接装着することができます。内部のネジは、アングルタイプであればアバットメント先端の内ネジに、ストレートタイプであればアバットメントスクリューのヘッド部の内ネジに収まります。クローズドトレー法での印象採得は既製のトレーが使用できます。

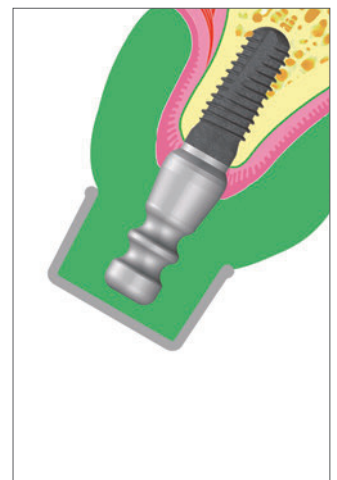
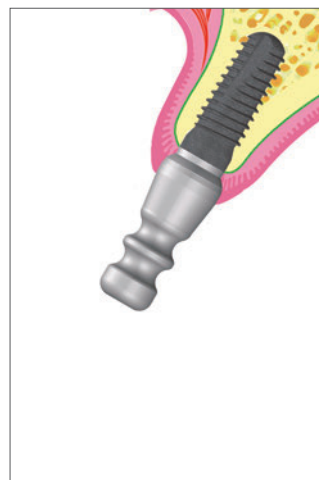
バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーをバリオSRアバットメントにキャップ内部のネジで固定します。クローズドトレー法での印象採得には既製のトレーが使用できます。印象採得する前に、トレーの適合を確認します。歯肉が厚くタイトな場合は、印象採得の前にX線でインプレッションキャップが正しく装着されたかどうか確認することをお勧めします。確認後、シリコンまたはポリエーテル系の印象材を使用して印象を採得します。

印象を外しても、インプレッションキャップ クローズドトレーはアバットメントに装着されたままです。インプレッションキャップを取り外し、印象と一緒に技工所に送付します。

ヒント：模型作製の効率化のために、印象と一緒に対応するバリオSRアナログを技工所に送付することをお勧めします。



バリオSRインプレッションキャップ
クローズドトレー



単冠修復を行う際の印象採得

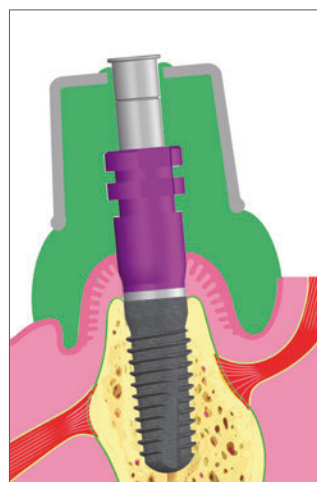
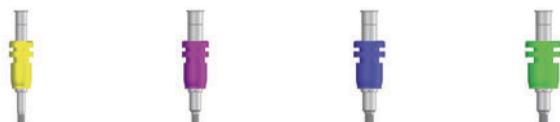
バリオSRアバットメント上で単冠修復物を作製する場合には、カラーコード化されたインプレッションポスト（オープントレー用またはクローズドトレー用）を用いてインプラントレベルの印象を採得します。インプレッションポストに固定スクリューを挿入し、ヘックススクリュードライバーを使用して手で締め込みます。

注記

インプレッションポスト（オープントレー用またはクローズドトレー用）によりインプラントレベルで印象を採得する場合には、同じカラーコードのインプラントアナログで模型を作製してください。

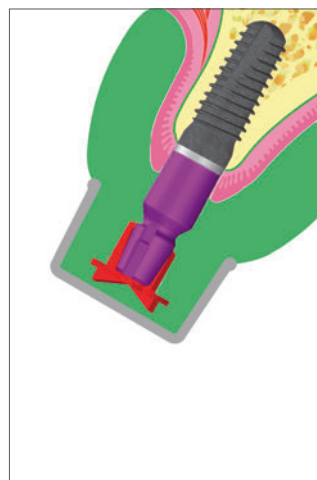
インプレッションポスト オープントレー用

商品コード	K2121.3800	K2121.4300	K2121.5000	K2121.6000
-------	------------	------------	------------	------------



インプレッションポスト クローズドトレー用 (トランスファーキャップ、バイトレジストレーションキャップ付)

商品コード	K2110.3800	K2110.4300	K2110.5000	K2110.6000
-------	------------	------------	------------	------------

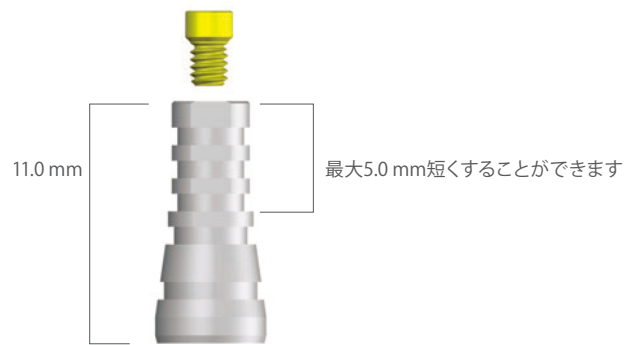


インプレッションポストを用いた印象採得に関する詳しい情報は、マニュアル「カムログインプラントシステム—印象採得・咬合採得・暫間修復」をご覧ください。

バリオSRアバットメントの咬合採得

インプラント支持による顎位の正確な測定や模型へのトランスファーに際してはチタンキャップ ブリッジ用をインプラントに装着されたバリオSRアバットメントに装着し、補綴スクリューで固定します。

キャップは三段目のグルーブを含めて先端から5.0 mmまで短くして使用することができます (切断は口腔外で行います)。



チタンキャップブリッジ用と補綴スクリュー

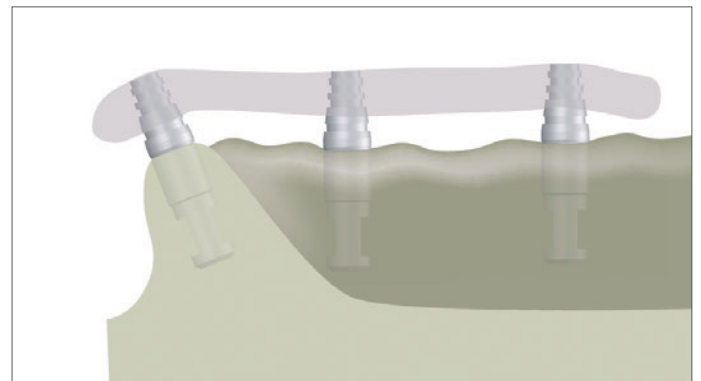
オプション

インプラント支持による顎位の測定や模型へのトランスファーでは、通常の咬合採得材料を用いてチタンキャップで採るか、またはチタンキャップをスプリントし一体型で咬合採得することも可能です。

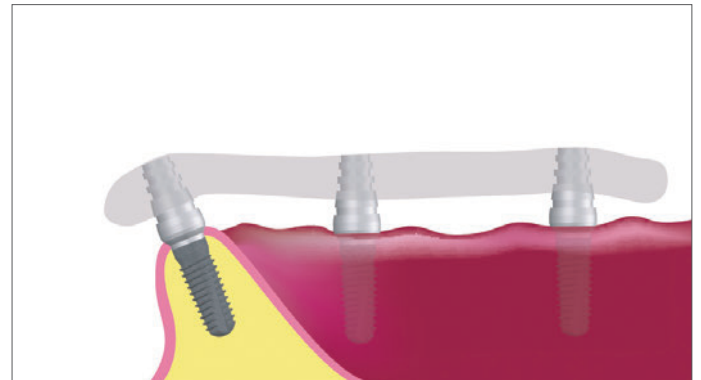
チタンキャップブリッジ用を連結させた咬合採得の例

印象採得から模型を作製後、チタンキャップブリッジ用をバリオSRアナログに補綴スクリューで装着し、作業模型上でキャップをスプリントし咬合採得を行います。チタンキャップは適切なレジン材を使用して連結します。この際、アクセスホールを塞がないように注意します。

ヒント: 大きな修復ケース (無歯顎や多数歯欠損) の場合に起こる歪み等を回避するため、キャップ間のスプリントを一旦切断し、バリオSRアバットメント上に再装着後、口腔内で収縮の少ないレジン材料を使用して再連結することを推奨します。



咬合採得用スプリントが作製できたら、キャップを付けた状態で口腔内に装着し、ヘックススクリュードライバーで補綴スクリューを手締めして咬合のチェックを行います。

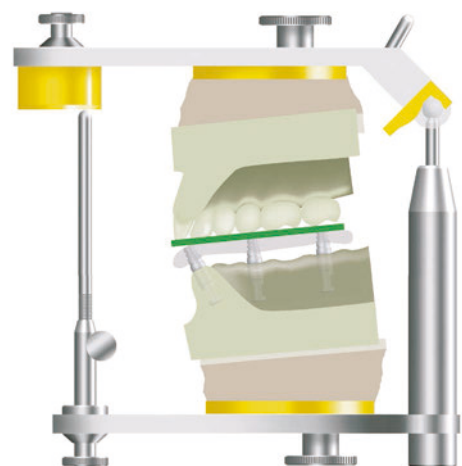


習慣的顎位で咬合採得を通常通りの材料を用いて行います。



硬化後、補綴スクリューを緩めます。キャップが付いた状態のままバイト印象を取り外し、技工所に送付してください。

キャップを取り込んだバイト印象を模型内のバリオSRアナログにスクリュー固定します。バイトレジストレーションを合わせ、咬合器にマウントします。



模型の作製

通常の模型作製

ブリッジおよびバー構造体の印象採得と模型作製には、バリオSR専用のパーツを用いて行い、単冠の場合には通常のカムログインプラントシステムのパーツを使用します。模型作製にあたっては、バリオSRインプレッションキャップ オープントレー及びインプレッションポスト（オープントレー用、クローズドトレイ用）の固定スクリューを、ヘックススクリュードライバーを用いて手で締め込んで、バリオSRアナログあるいはインプラントアナログに装着します。

注記

パーツを形態修正しないでください。

バリオSRアナログを用いたブリッジおよびバー補綴用の模型作製

装着済のバリオSRアバットメントで印象採得を行った場合には、バリオSRアナログを使用します。バリオSRアナログを、印象を採得したバリオSRインプレッションキャップ（オープントレーまたはクローズドトレイ）に手で締めて装着します。

商品コード	商品名	直径
J2567.4300	バリオSRアナログ	3.8/4.3mm
J2567.6000	バリオSRアナログ	5.0/6.0mm

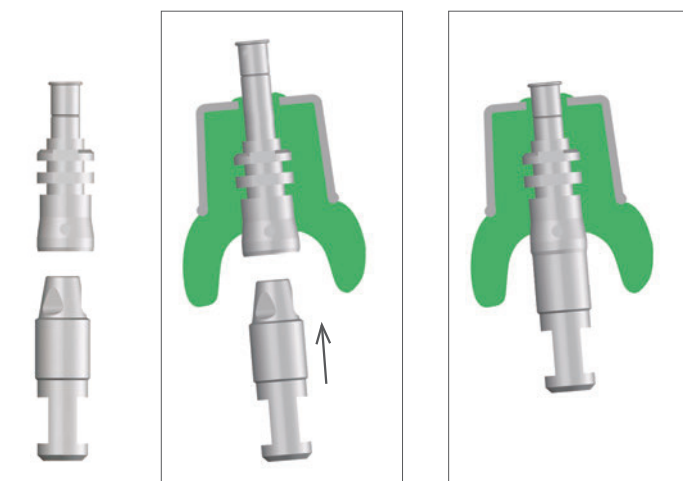
注記

バリオSRインプレッションキャップ（オープントレー、クローズドトレイ）には回転防止機構が付いていないため、ブリッジおよびバー修復用としてアバットメントレベルで印象採得をする際に使用します。模型はバリオSRアナログを使用して作製してください。

バリオSRインプレッションキャップ オープントレーを用いた模型作製

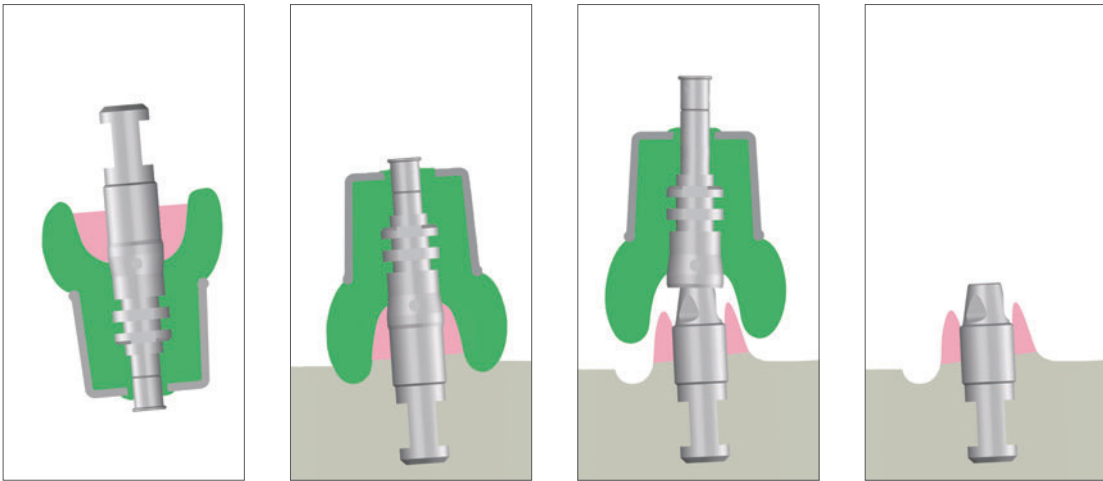
印象採得後、バリオSRインプレッションキャップ オープントレーを印象に残したままにします。

歯科技工所にて印象に残っているバリオSRインプレッションキャップ オープントレーに対応するサイズのバリオSRアナログを挿入し、しっかりと装着させます。ヘックススクリュードライバーを用いて固定スクリューを手で締め込みます。



バリオSRインプレッションキャップ オープントレーとバリオSRアナログ

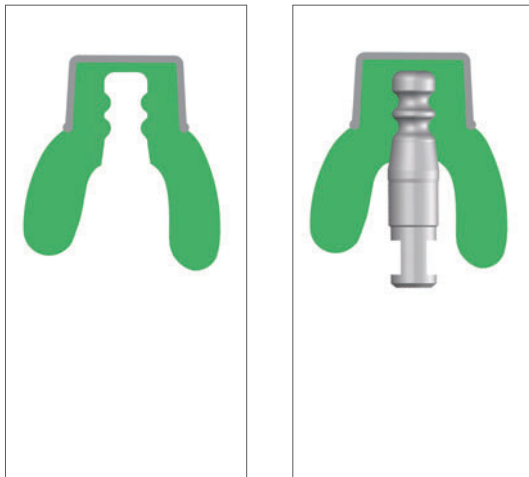
印象に適切な石膏を流し込みます。硬化後、バリオ SRインプレッションキャップの固定スクリューを緩め、印象を取り外します。



ヒント：模型作製の際はガム模型材を使用することを推奨します。周囲の歯肉は弾性があり、特に審美領域における歯肉縁下のクラウンマージンや修復物の状況を忠実に復元します。これによってクラウンカンツァーの適切なデザインが得やすくなります。

バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーを用いた模型作製

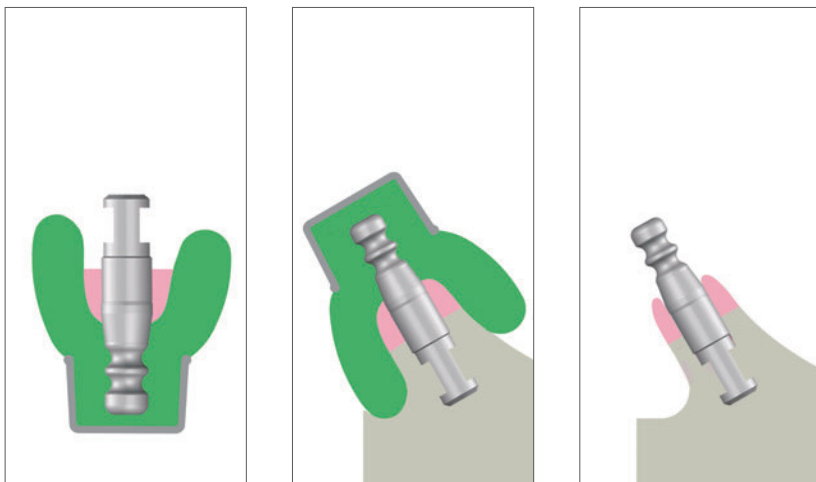
印象採得後、技工所にて一体型のバリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーとバリオSRアナログを、インプレッションキャップの内部のネジで固定し、印象内に挿入します。この時接着剤は使用しないでください。



バリオSRインプレッションキャップ クローズドトレーとバリオSRアナログ

印象に適切な石膏を注入し、バリオSRインプレッションキャップが緩まないようにします。硬化後、印象を模型から外し、インプレッションキャップをアナログから取り外します。





ヒント：模型作製の際はガム模型材を使用することを推奨します。周囲の歯肉は弾性があり、特に審美領域における歯肉縁下のクラウンマージンや修復物の状況を忠実に復元します。これによってクラウンカンツァーの適切なデザインが得やすくなります。

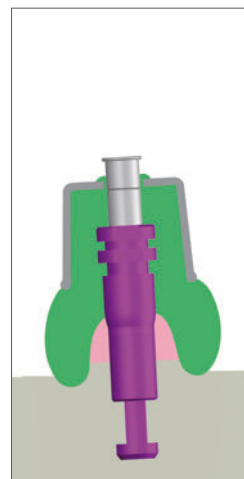


インプラントアナログを用いた単冠補綴修復時の模型作製

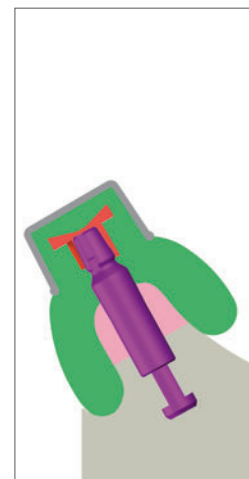
カムログインプラントの印象採得をインプラントレベルでバリオSRアバットメントなしで行った場合には、模型作製にインプラントアナログを使用します。インプラントアナログをインプレッションポスト（オープントレー用またはクローズドトレイ用）に装着し、ヘックススクリュードライバーを用いて手で締め込みます。

インプラントアナログ

商品コード	K3010.3800	K3010.4300	K3010.5000	K3010.6000
				



インプレッションポスト オープントレー用



インプレッションポスト クローズドトレイ用

注記

インプレッションポスト（オープントレー用またはクローズドトレイ用）によりインプラントレベルで印象を採得する場合には、同じカラーコードのインプラントアナログで模型を作製してください。

インプラントアナログを用いた補綴修復計画に関する詳しい情報は、マニュアル「カムログインプラントシステムークラウン・ブリッジ修復」をご覧ください。

模型の作製後、バリオSRアバットメントをインプラントアナログに装着し、適合するサイズのラボスクリュー（茶色）で手締めします（P.29参照）。

バリオSRアナログではなく実際のバリオSRアバットメント本体上で単冠補綴を作製します。



暫間補綴

プロテクションキャップ

最終補綴修復物を作製している間、プロテクションキャップを使用している間、プロテクションキャップを使用して初期段階の修復物を作製することができます。プロテクションキャップは一体型のチタン製で、滅菌梱包されており、直径3.8/4.3mm用と5.0/6.0mm用の2種類があります。

商品コード	商品名	直径
J2568.4300	プロテクションキャップ	3.8/4.3mm
J2568.6000	プロテクションキャップ	5.0/6.0mm



プロテクションキャップを、カムログインプラントに装着したバリオSRアバットメントに装着します。キャップはヘックススクリュードライバーを用いて手で締めて固定させます。



注記

既存の補綴物を暫間補綴として使用する場合には、既存補綴物のプロテクションキャップに当たる部分を適切にレリーフしておく必要があります。補綴物がプロテクションキャップに直接当たらないようにします。当たっている場合咀嚼力が伝達されてインプラント治療に支障が生じます。

注記

口腔内で使用する時は、患者が誤飲や誤嚥しないようにしっかりと保持してください。

テンポラリーブリッジ補綴修復 チタンキャップ ブリッジ用

チタンキャップ ブリッジ用をインプラントに装着されたバリオSRアバットメントに取り付けます。キャップの外側にはレジン材を保持するためのグルーブが付与されています。キャップはチタン合金製で、直径3.8/4.3 mm用と5.0/6.0 mm用の2種類があります。

注記

チタンキャップ ブリッジ用には回転防止機構が付いていないため、ブリッジ修復にのみ使用できます。

商品コード		商品名	直径
J2564.4301		チタンキャップ ブリッジ用 (補綴スクリュー付き)	3.8/4.3mm
J2564.6001		チタンキャップ ブリッジ用 (補綴スクリュー付き)	5.0/6.0mm
J4005.2004		補綴スクリュー ヘックス M 2.0 黄色	

テンポラリーブリッジ修復物の作製に関する情報はP.34を参照してください。

補綴物の作製

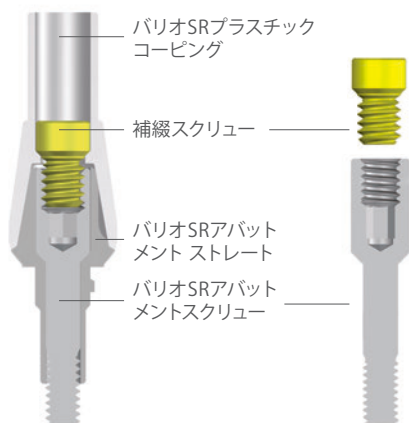
スクリー固定式補綴修復物の作製のため、バリオSRアバットメントに補綴スクリー（M 2.0）で固定される多様な補綴パーツが揃っています。スクリーはヘックススクリードライバーを用いて締め込みます（P.14参照）。

バリオSRアバットメント ストレートの補綴スクリー連結

バリオSRアバットメントスクリーを使用して、バリオSRアバットメント ストレートをインプラントに固定します。上部構造を装着する際には、金属に置換され修復物に組み込まれたプラスチックコーピングの座面を補綴スクリーで固定します。補綴スクリーはバリオSRアバットメントスクリーのヘッド部の内ネジとかみ合い、修復物をアバットメントに保持します。



バリオSRアバットメント ストレート

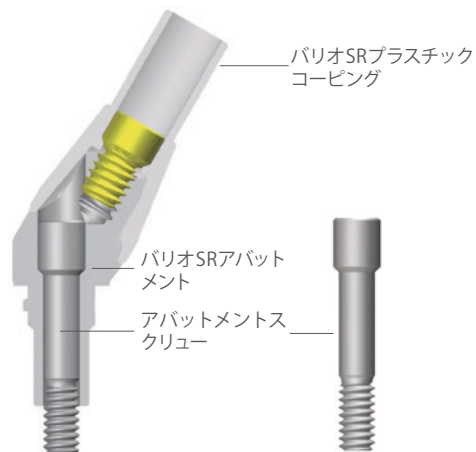


バリオSRアバットメント アングルの補綴スクリー連結

アバットメントスクリーを使用して、バリオSRアバットメント アングル（20°、30°）をインプラントに固定します。上部構造を装着する際には、金属に置換され修復物に組み込まれたプラスチックコーピングの座面を補綴スクリーで固定します。補綴スクリーがバリオSRアバットメントのヘッド部の内ネジとかみ合い、修復物をアバットメントに保持します。



バリオSRアバットメント アングル



バリオSRアバットメント上で直接上部構造を作製するオプション

茶色のラボスクリュー（陽極酸化処理）

上部構造（ブリッジ/バー）はバリオSRアバットメント（ストレート、アングル）上で作製することも可能です。ただし、単冠修復物の作製の場合はインプラントアナログにバリオSRアバットメント本体を装着し作製することが必須です。（P19の「単冠修復を行う際の印象採得」参照）。

インプラントアナログで模型を作製後、バリオSRアバットメントをインプラントアナログに装着します。この場合、インプラントアナログへのアバットメント装着には茶色のラボスクリュー（陽極酸化処理）の使用を推奨します。アバットメントに添付されたアバットメントスクリュー（滅菌済み）の使用は、口腔内のインプラントへの最終装着に限定してください。

バリオSRアバットメントの概要

アバットメント （ストレート 20° アングル 30° アングル）	バリオSRアバットメント ストレート Ø3.8/4.3 mm	バリオSRアバットメント アングル Ø3.8/4.3 mm	バリオSRアバットメント ストレート Ø5.0/6.0 mm	バリオSRアバットメント アングル Ø5.0/6.0 mm
				
ラボスクリュー	バリオSR ラボスクリュー M 1.6 商品コードJ4008.1600	ラボスクリュー M 1.6 商品コードJ4006.1601	バリオSR ラボスクリュー M 2.0 商品コードJ4008.2000	ラボスクリュー M 2.0 商品コードJ4006.2001
				

重要事項

必ず適合するラボスクリューをご使用ください。

バリオSRプラスチックコーピングを用いた鑄造修復

補綴修復物の作製にあたり、単冠、ブリッジ、バー構造体用として焼却可能な既製のバリオSRプラスチックコーピングがご利用いただけます。プラスチックコーピングに直接ワックスアップ（ワックス

またはパターンレジンを)を行います。適切な合金を使用して通法通り鑄造を行った後、歯冠色材料を築盛し完成させます。

バリオSRアバットメント ストレートに装着される単冠修復用のバリオSRプラスチックコーピング

商品コード	商品名	直径
J2563.4302	バリオSRプラスチックコーピング ストレートクラウン用 バリオSRアバットメント ストレート用 (三面の回転防止機構付) 焼却用 (POM製)	3.8/4.3mm
	※バリオSRアバットメント アングルには使用できません。	
J2563.6002	バリオSRプラスチックコーピング ストレートクラウン用 バリオSRアバットメント ストレート用 (三面の回転防止機構付) 焼却用 (POM製)	5.0/6.0mm
	※バリオSRアバットメント アングルには使用できません。	
J4005.2004	補綴スクリュー ヘックス M 2.0 黄色	

バリオSRアバットメント (ストレート、アングル共) に装着されるブリッジ用のバリオSRプラスチックコーピング

商品コード	商品名	直径
J2563.4301	バリオSRプラスチックコーピング ブリッジ用 バリオSRアバットメント ストレート/アングル用 焼却用 (POM製)	3.8/4.3mm
J2563.6001	バリオSRプラスチックコーピング ブリッジ用 バリオSRアバットメント ストレート/アングル用 焼却用 (POM製)	5.0/6.0mm
J4005.2004	補綴スクリュー ヘックス M 2.0 黄色	

バリオSRアバットメントアングル (20°、30°) に装着される単冠修復用のバリオSRプラスチックコーピング

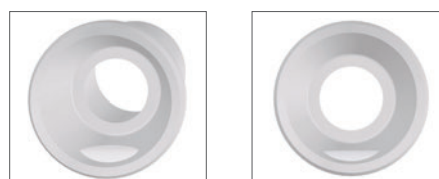
商品コード	商品名	直径
J2563.4303	バリオSRプラスチックコーピング アングルクラウン用 バリオSRアバットメント アングル用 (一面の回転防止機構付) 焼却用 (POM製)	3.8/4.3mm
	※バリオSRアバットメント ストレートには使用できません。	
J2563.6003	バリオSRプラスチックコーピング アングルクラウン用 バリオSRアバットメント アングル用 (一面の回転防止機構付) 焼却用 (POM製)	5.0/6.0mm
	※バリオSRアバットメント ストレートには使用できません。	
J4005.2004	補綴スクリュー ヘックス M 2.0 黄色	

バリオSRの回転防止機構について

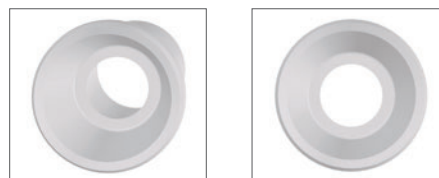
バリオSRアバットメント ストレートに装着される単冠修復では、内部構造に3つの回転防止機構が付いたプラスチックコーピングを使用します。



バリオSRアバットメント アングルに装着される単冠修復では、1つの回転防止機構が付いたプラスチックコーピングを使用します。



バリオSRアバットメント (ストレート、アングル共) に装着されるブリッジ/バー修復では、内部が丸く回転防止機構のないプラスチックコーピングを使用します。



最終ブリッジ修復物の作製例

ブリッジ修復物の作製にあたっては、バリオSRプラスチックコーピング ブリッジ用をバリオSRアナログに装着し、補綴スクリューで固定します。コーピングは咬合面側より5.0 mmまで短くすることができます。プラスチックコーピングの全長11mmを超えるワックスアップはしないでください。



バリオSRプラスチックコーピング ブリッジ用と補綴スクリュー

ワックスアップ

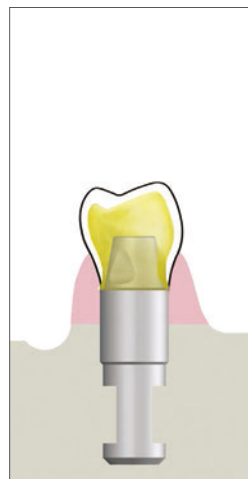
フレームワークは、通法通り最終的なクラウンの縮形態でワックスアップを行います。セラミックもしくはレジン築盛層を適切かつ均一に確保するように注意してください。プラスチックコーピング上のワックス層は、0.3 mm以上の厚さが必要です。コーピングのエッジが薄く壊れやすくなるようご注意ください。

重要事項

リングファーンネスで焼却する際、プラスチックの熱膨張によってプラスチックコーピング周囲の埋没材を損傷し、その結果、埋没材が鑄造金属に混入する場合があります。従って、プラスチックコーピングの外周全面は最低0.3 mm以上のワックス層でコーティングされる必要があります。加熱すると、最初にワックス層が軟化し、プラスチックが膨張するスペースが得られます。

事前に採得したシリコンインデックスを用いて、理想的なフレーム形状を確認することができます。

ヒント：臼歯部における長軸方向以外への荷重とオーバーカンツアを防ぐために、ワックスアップは臼歯の大きさに抑えることを推奨します。



咬合面までの垂直高径

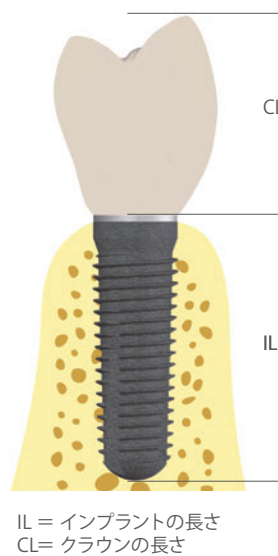
インプラントの長さに関する情報は補綴修復または計画にとって極めて重要です。インプラントと骨の界面への負荷は、オッセオインテグレーションによって生じる抵抗と補綴物の歯冠歯根比（歯冠長：骨頂上のインプラントの高さ+インプラントショルダーより上のクラウンの長さ）の比例関係の結果として生じます。この関係においてインプラントの長さがクラウンの長さより小さい場合には、補綴物を連結するなどして負荷を分散する必要があります。単冠修復におけるクラウンの長さの最適な比率はインプラントの長さに対して <0.8 です。

埋没、鑄造、掘り出し

使用するフラスコシステムのマニュアルに従って、ワックスアップしたフレームを埋没します。ワックス界面活性剤などの使用は推奨されません。もし使用する場合には、POM製のプラスチックパーツに適したものでなければなりません。埋没の際、ワックスアップしたフレームをリングの正しい位置に設置することが重要です。鑄造物の容量比やスプルーの角度は、鑄造に必要な温度が得られるように選択する必要があります。これは特に容量の大きなケースにおいて重要です。

埋没材はリン酸塩系埋没材が推奨されます。混液比および余熱時間はメーカーのマニュアル通りに正確に設定してください。急速加熱処理（ヒートショック型埋没材）は推奨されません。取り出した後、冷めないうちに速やかに鑄造を完了する必要があります。

鑄造後、鑄造物をゆっくりと室温まで冷まし、丁寧に取り出します。その際、ウォータージェットや超音波洗浄器などで丁寧に洗浄してから取り出してください。



鋳造物をトリミングした後、セラミック（あるいはレジン）ベニアリングのための準備を行います。使用するセラミックは合金に適したものにしてください（熱膨張係数を確認してください）。咬合面はフリーダムインセントリックを考慮して設計する必要があります。

補綴修復物の装着

仕上げたブリッジ修復物をバリオSRアバットメントに装着し、未使用の補綴スクリューで固定します。締め付けトルクは15Ncmです。

衛生上および審美上の理由のため、アクセスホール部を封鎖することを推奨します。補綴スクリューを取り外すことができるように、スクリューヘッド直上はワックスあるいはガッタパーチャで塞ぎ、咬合面までのアクセスホールはコンポジット等で封鎖します。



装着前に補綴物の洗浄および消毒または滅菌を行うことを推奨します。インプラント周囲の硬軟組織の状況が適切で、補綴物がギャップなく確実に装着できなければなりません。

アクリルレジン製ブリッジ構造体 チタンキャップ ブリッジ用

チタンキャップ ブリッジ用の外側はレジン築盛時のリテンションのためのグルーブが付与されています。キャップはチタン合金製で、直径3.8/4.3 mm用と5.0/6.0 mm用の2種類があります。

注記

チタンキャップ ブリッジ用には回転防止機構が付いていないため、ブリッジ補綴修復にのみ使用できます。

バリオSRアバットメント ストレート/アングルに装着される チタンキャップ ブリッジ用

商品コード	商品名	直径
J2564.4301	チタンキャップ ブリッジ用 (補綴スクリュー付)	3.8/4.3mm
J2564.6001	チタンキャップ ブリッジ用 (補綴スクリュー付)	5.0/6.0mm
J4005.2004	補綴スクリュー ヘックス M2.0 黄色	

テンポラリーブリッジ修復物は、作業模型のインプラントアナログに装着したバリオ SRアバットメント (ストレート、アングル) 上で直接作製することができます。

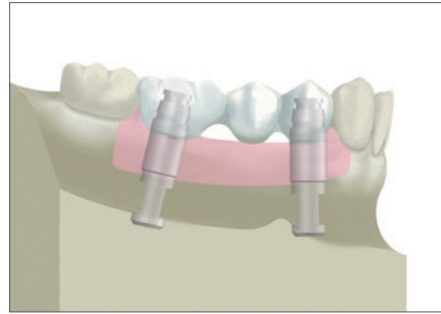
最終ブリッジ修復物の作製例

ブリッジ修復物の作製のため、チタンキャップ ブリッジ用をバリオSRアナログに取り付け、補綴スクリューで固定します。キャップは三段目のグルーブを含めた5.0 mmの部分まで短くして使用することができます。



チタンキャップ ブリッジ用と補綴スクリュー

チタン製キャップ上に通法通り適切なレジン材を用いて補綴修復します。



補綴修復物の装着

仕上げたアクリルレジブリッジをバリオSRアバットメントに装着し、未使用の補綴スクリューで固定します。締め付けトルクは15Ncmです。

衛生上および審美上の理由のため、アクセスホール部を封鎖することを推奨します。補綴スクリューを取り外すことができるように、スクリューヘッド直上はワックスあるいはガッタパーチャで塞ぎ、咬合面までのアクセスホールはコンポジット等で封鎖します。



装着前に補綴物の洗浄および消毒または滅菌を行うことを推奨します。インプラント周囲の硬軟組織の状況が適切で、補綴物がギャップなく確実に装着できなければなりません。

ハイブリッドデンチャー レーザー溶接式バーアタッチメント バーコーピング

バーコーピングはグレード4のチタン製で、チタン製の既製バーに接続するレーザー溶接式のバー構造体に適しています。コーピングには直径3.8/4.3 mm用と5.0/6.0 mm用の2種類があります（回転防止機構は付いていません）。

バリオSRアットメント ストレート/アングルに装着されるバーアタッチメント用バーコーピング

商品コード	商品名	直径
J2570.4300	バーコーピング レーザー溶接用（補綴スクリュー付）	3.8/4.3mm
J2570.6000	バーコーピング レーザー溶接用（補綴スクリュー付）	5.0/6.0mm
J4005.2004	補綴スクリュー ヘックス M 2.0 黄色	

注記

バーコーピングには回転防止機構が付いていないため、バー構造体にもみ使用できます。

バーデンチャーの役割

インプラント支持のハイブリッドデンチャーにおいて、バーアタッチメントは安定したインプラント連結構造体となり、ハイブリッドデンチャーをしっかりと固定することができます。

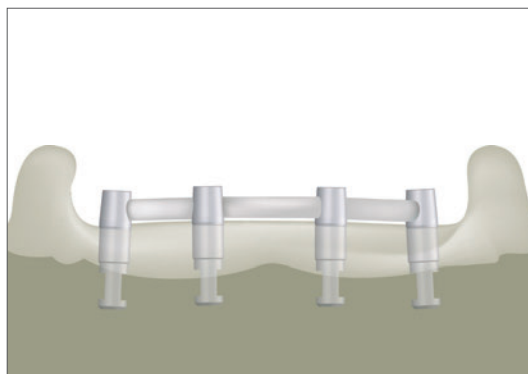
- ・デンチャーをせん断力や押し上げ力から保護
- ・せん断力の分散
- ・インプラントの安定化と連結によるスプリント効果
- ・バーの回転自由度による弾性補正

バーアタッチメントの作製

バーアタッチメントの作製では、バーコーピングをバリオSRアナログに装着します。ヘックススクリュードライバーを用いて補綴スクリューを手で締め込みます。



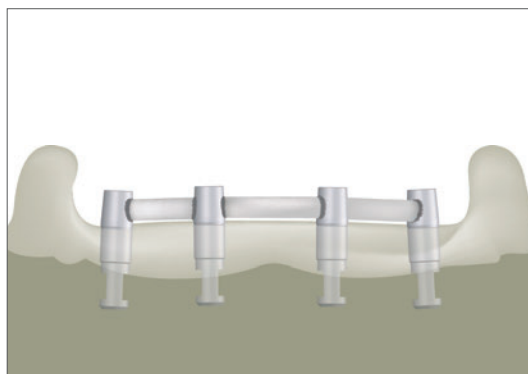
バーエレメントを、バーコーピングとのすき間ができるだけ小さくなるように連結ギャップを考慮して切断します。



全てのパーツを装着したら、バーをバーコーピングに対して十分なアルゴンガス噴射下でレーザー溶接を行った後、研磨します。

レーザー溶接における重要事項

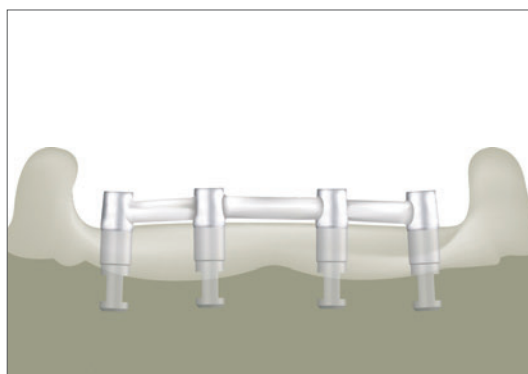
溶接の際青色の変色がないようにしてください。変色は不十分なアルゴンガス噴射によるチタンの酸素取り込みを意味します。その結果、溶接部が脆くなってしまいます。使用するレーザー溶接機器の操作マニュアルに従って操作してください。



バーアタッチメントが完成したら、メタルで床を補強した最終のバー用オーバードンチャーを通常通り作製します。人工歯は通常の総義歯の原則に基づいて配列します。既存の総義歯を利用し、適切なバー構造によってバー維持用デンチャーに転換させることもできます。

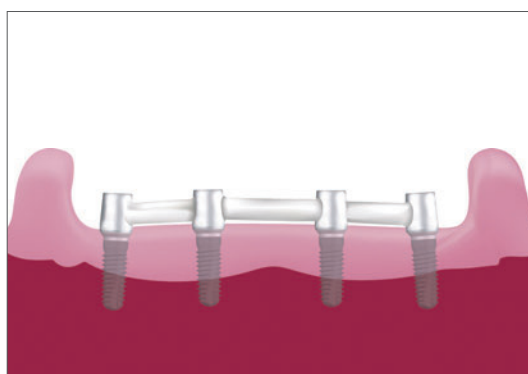
重要事項

マトリックスは、デンチャーの作製前に適切なベンディングワイヤで固定して配置します。この手順を踏むことでバー上のデンチャーの垂直方向の位置の確定ができます。



バーアタッチメントの装着

仕上げたバー構造体をバリオSRアバットメントに装着し、ヘックススクリウドライバーを用いて未使用の補綴スクリューにて固定します（トルク値15Ncm）。デンチャーを装着し、適切に適合しているかを確認します。



カムログインプラント	医療機器承認番号	【高度】	21200BZY00584000
カムログアバットメント	医療機器承認番号	【高度】	21200BZY00583000
カムログインプラント K-シリーズ	医療機器承認番号	【高度】	22200BZX00868000
パリオSRアバットメント	医療機器承認番号	【高度】	22700BZX00119000
パリオSR上部構造材	医療機器認証番号	【管理】	223AKBZX00211000
カムログ レンチ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000005
カムログ インプラント補綴用器具	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000026
印象用キャップ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000067
インプレッションポスト	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000069
インプラントアナログ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000081
ヘックススクレールドライバー 0.05インチ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000085
パリオSR技工用器材	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000098
パリオSRインプレッションキャップ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000099
パリオSRラボスクレュー	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000100
パリオSRアライメントツール	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000101
HEXスクレールドライバー 0.05インチ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000127

製造販売業者 株式会社アルタデント

本社 〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-31 第三東洋ビル2F TEL(06)6377-2221 FAX(06)6377-2223
東京支社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル3F TEL(03)5420-2290 FAX(03)5420-4790

製造業者 Altatec GmbH Maybachstr 5, 71229 Wimsheim, Germany

IN. 0001. 201507. 01

camlog
ALCADENT アルタデント
株式会社
www.alta-dent.com